

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
児童文化		保育・食育学科/3年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(16時間)	必須	木曾 真理絵
授業の概要				
<p>大人社会の文化は、こどもにいろいろな面で深い影響を及ぼしている。これらのことを認識するために、まず現代社会の文化について学ぶ。 そして、大人の文化が子どもにどのように影響しているか考察していく。また、未来をになう子どもが健やかに育つ環境としての文化をどのように設定していくのか考える。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的文化と近代的文化の特色がそれぞれ理解できる。 ・こどもの遊びを理解し、活用できる。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		幼稚園教諭10年 保育現場経験を活かし、現場で子どもたちに喜ばれる 児童文化財を伝える。		
時間外に必要な学修				
絵本を読んだり、手遊びを覚えたりと保育で活用できる財産を増やす。				
回	テーマ	内 容		
1	児童文化とは	児童文化の歴史 児童文化と児童文化財 子どものスポーツと遊び		
2	伝承遊び	伝承遊びとわらべ歌		
3~ 4	言葉あそび	言葉のおもしろさ、美しさを感じる		
5~ 7	絵本	絵本・読み聞かせ・紙芝居・人形劇		
8	遊び場と組織	遊び場と施設 組織と活動		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
ことばと表現力を育む 児童文化		総合評価	100.0%	【採点内訳】 レポート60% 授業態度 30% 発表10%

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
乳児保育		保育・食育学科/3年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(16時間)	必須	西原 和代
授業の概要				
<p>1. 保育所や乳児院で乳児保育を担当する保育士として必要な乳児保育の理論や知識・技術の基本を具体的な事例を通して理解させる。</p> <p>2. 乳児を集団で保育することについて、保育現場での具体的な課題を、討議しながら考え問題解決の方法を理解させる。</p>				
授業終了時の到達目標				
わが国における乳児保育の変遷と保育所・乳児院・家庭の現状を理解しながら、保育所や乳児院の果たす役割、乳児保育を担当する保育者としての役割を自覚する。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		看護師・助産師として4年の勤務経験あり 現場経験を生かして、妊娠から出産までの道筋と命について伝える。		
時間外に必要な学修				
身近な赤ちゃんを観察し、命を感じる				
回	テーマ	内容		
1	妊娠と出産	妊娠の成立・胎児の様子と分娩		
2	"	分娩ビデオを通して 命について考える		
3	こどもの安全	リスクマネジメントについて(環境)		
4	"	リスクマネジメントについて(おもちゃ)		
5	働く母親	女性の職業進出と保育環境、母子関係について		
6	応答的保育	応答的保育とは		
7	乳児の発達と保育	乳児期の発達①		
8	"	乳児期の発達②		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
近大テキスト		総合評価	100.0%	【採点内訳】 60% テスト 20% 授業態度 20% 提出物

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
音楽演習 I A (ピアノ)		保育・食育学科/3年	2020/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	中村 明子

授業の概要

・音楽の基礎を徹底的に身につけ、簡単な曲、弾き語りの曲を弾けるようにする。

授業終了時の到達目標

・バイエル終了程度の技術を身につけ、簡単な童謡の弾き語りができる。

実務経験有無

実務経験内容

有

保育士として5年勤務
現場で得た保育技術を伝える。

時間外に必要な学修

子どもも喜ぶ童謡を聞いたり歌ったりするし、ピアノの練習をする。

回	テーマ	内容
1	基本の理解	楽典の基礎、リズムの基礎
2	ハ長調の和音 I V 7	バイエル 1 ~ 1 2
3	ハ長調分散和音	バイエル 1 3 ~ 2 0 笙うと笙おのリズムの理解
4	ハ長調、下屬和音	バイエル 2 1 ~ 2 6
5	ヘ長調	バイエル 2 7 ~ 3 2
6	ト長調	バイエル 3 3 ~ 3 8
7	伴奏形のいろいろ	バイエル 3 9 ~ 4 2
8	拍子のいろいろ	バイエル 4 3 ~ 4 8 移調について、3/4と3/8、3/8と6/8
9	笙う。♪のリズム	バイエル 4 9 ~ 5 4 リズムの徹底
10	高い音、低い音	バイエル 5 5 ~ 6 0
11	8vaの練習、高い音	バイエル 6 1 ~ 6 7
12	臨時記号、半音階、16音符	バイエル 6 8 ~ 7 2 リズムの徹底
13	イ短調、重音	バイエル 7 3 ~ 7 8
14	3連符、転調、弱起の曲	バイエル 7 9 ~ 8 4
15	その他の調、装飾音	バイエル 8 5 ~ 9 0

回	テーマ	内容		
16	こどものうた	かえるのうた・ちょうちょう		
17	"	大きな栗の木の下で・あめふりくまのこ		
18	"	クラリネットをこわしちゃった・おもちゃのチャチャチャ		
19	"	1年生になったら・さんぽ		
20	"	おはようのうた・おべんとう		
21	"	おかたづけ・おかえりのうた		
22	"	はをみがきましょう・むすんでひらいて		
23	"	やきいもグーチャーパー（再試時間をとる）		
24	"	そうだったらいいのにな（再試時間をとる）		
25	"	たんじょうび・みんなで作ろう		
26	"	B e e M a r c h ・ R U N		
27	"	各自、合格しなかったバイエル、必修課題曲の特訓及び集中スクーリングに向けての練習		
28	"	各自、合格しなかったバイエル、必修課題曲の特訓及び集中スクーリングに向けての練習		
29	"	各自、合格しなかったバイエル、必修課題曲の特訓及び集中スクーリングに向けての練習		
30	"	各自、合格しなかったバイエル、必修課題曲の特訓及び集中スクーリングに向けての練習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
テキスト使用		総合評価	100.0%	【採点内訳】 60% ピアノの演奏点 40% 授業態度

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
音楽演習IB(声楽・器楽)		保育・食育学科/3年	2020/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	鈴木 佳美
授業の概要				
1. 保育の内容を理解し展開するために必要な知識や技能を習得させる。 2. 音楽に関する基本的な知識や技能を身につけ、それらに関する様々な活動を通して楽しさや喜びを体験し、保育の中で取り扱う教材やそれらを展開するために必要な知識や技能を習得させる。				
授業終了時の到達目標				
童謡は、アカペラで歌える曲を増やす。弾き語りできる学生は、積極的にレパートリーを増やす。 アンサンブルは、いろんなパートに取り組み、先生の立場で指導できるように努力する。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		ヤマハ音楽幼児科講師4年 障害児・障害施設にて音楽療法2年 こども園にて子育て支援、音楽指導1年現在継続中 現場経験を活かし、音楽技術、表現方法、指導法を伝える。		
時間外に必要な学修				
弾き語りで発表する曲の練習・合奏のパート練習				
回	テーマ	内 容		
1～6	こどものうたから選曲	春のうたと 合唱と合奏		
7～11	こどものうたから選曲	夏のうたと 合唱と合奏		
12～16	こどものうたから選曲	秋のうたと 合唱と合奏		
17～21	こどものうたから選曲	冬のうたと 合唱と合奏		
22	発表	各自選曲した曲を歌う		
23～30	実習事前練習	各自で歌を選曲		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
子供の歌、子供の歌(ベスト100)、やさしい器楽合奏		総合評価	100.0%	【採点内訳】 60% 発表点 40% 授業態度

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保育演習Ⅲ		保育・食育学科/3年	2020/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位(90時間)	必須	中村, 尾崎桃, 木曾真, 元木倫
授業の概要				
1. 保育現場で生かせる保育者としての専門的な技術をできるだけ多く習得する。 2. 保護者との関りについて学び、よりよい信頼関係を築く方法を習得する。				
授業終了時の到達目標				
・食育に関連する エプロンシアター作り(内容オリジナル) ・保育者としての専門技術を習得し、保護者との関り方を習得する。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		保育士として5年勤務 現場で得た保育技術を伝える。		
時間外に必要な学修				
保育現場で子どもたちが喜ぶような遊びを自分なりに調べて、自分の引き出しを増やす。				
回	テーマ	内容		
1	パネルシアター	パネルシアターについて		
2	"	子どもとパネルシアター 保育者にとって		
3~ 22	作成開始	パネルシアターを自分なりに物語を作り製作開始		
23~ 27	製作後に練習	各自練習		
28~ 29	発表	順番に発表		
30	振り返り	振り返りと今後の課題		
31~ 43	保育ブック	12ヶ月の 保育技術を本として製作 (オリジナルブック)		
44	誕生日会	クラス全員で誕生会作り		
45	"	誕生会		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
適宜、プリントを配布する。		総合評価	100.0%	【採点内訳】 60% 作品提出 40% 授業態度

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
コンピューターリテラシー		保育・食育学科/3年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	尾崎 桃子
授業の概要				
保育雑誌によくついている CDロムの使いかたについて				
授業終了時の到達目標				
保育雑誌についている CDロムの扱い方について習得する。 CDロムを使って、クラス便り・健康だより・食育だよりなどを作成				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
自分なりにパソコンを操作し、慣れる。				
回	テーマ	内容		
1	保育現場で活用されるパソコンについて	保育現場で活用されるパソコンについて		
2~3	''	ワードの基本的操作の復習		
4~5	保育雑誌のCDロム	保育雑誌のCDロムを開いて ワードで使用する		
6~9	''	各自で クラスだよりなどを選択して 作成		
10~13	''	各自で食育便りを作成		
14~15	エクセル	エクセルを使って 指導案の作成		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
適宜プリント配布		総合評価	100.0%	【採点内訳】 50% 授業態度 50% 発表

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
接遇		保育・食育学科/3年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(16時間)	必須	後藤ケイ子
授業の概要				
1. 社会人として必要なマナーを習得する。 2. 専門職にふさわしい言葉づかいや気配りについて学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
・マナーの基本を理解し、基本が実践できる(身だしなみ、表情、挨拶、態度、言葉づかい) ・対面対応の基本、電話対応の基本を理解し、職場における必要な基本的コミュニケーション技術を身につける。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		自治体(国・県・市・町)の初任者研修、一般職員の接遇研修等(24年) 学校(小学校・中学校・高校・短大・大学・専門学校)接遇(24年)		
時間外に必要な学修				
授業内容の特に実践は、日常生活でも繰り返し実践して復習する。				
回	テーマ	内容		
1	<ul style="list-style-type: none"> 社会人としての心構え 公衆のマナー 基本のマナー 	<ul style="list-style-type: none"> 社会人としての心構えの講義 公衆マナーについてプリント作成 身だしなみ・表情・挨拶・態度についての基本のチェック、実践 		
2	<ul style="list-style-type: none"> 基本のマナーの振り返り コミュニケーション技術 言葉づかい 	<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみ、表情、挨拶、態度をビデオ撮影し、モニターで振り返り 聞く、話すの基本の講義、実践 敬語、クッション言葉について講義、プリント作成、宿題 		
3	<ul style="list-style-type: none"> 来客対応マナー 訪問マナー 	<ul style="list-style-type: none"> お迎え、受付、案内、お茶だし、お見送りの基本の講義・実践 訪問マナーの基本の講義、実践(名刺の扱い) 		
4	<ul style="list-style-type: none"> 来客対応マナー 訪問マナー 	<ul style="list-style-type: none"> お迎え、受付、案内、お茶だし、お見送りの基本の講義・実践 訪問マナーの基本の講義、実践(名刺の扱い) 		
5	<ul style="list-style-type: none"> 接客対応マナー 	<ul style="list-style-type: none"> 接客対応マナーの基本(入居者・ご利用者様等)(園児・保護者等) 実践 		
6	<ul style="list-style-type: none"> 接客対応マナー 	<ul style="list-style-type: none"> 接客対応マナーの基本(入居者・ご利用者様等)(園児・保護者等) 実践 		
7	<ul style="list-style-type: none"> 電話対応マナー 	<ul style="list-style-type: none"> 電話対応の基本の講義 電話をかける、電話を受ける、電話を取り次ぎ方の実践 第一声の録音 		
8	<ul style="list-style-type: none"> 電話対応マナー 	<ul style="list-style-type: none"> 電話をかける、電話を受ける、(在席、不在)メモの取り方・実践・まとめ 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
(有) オフィス後藤 「ビジネスマナー」		総合評価	100.0%	【採点内訳】 期末試験 70% 授業態度(実践含む) 30%

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保育英語 I		保育・食育学科/3年	2020/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	16回	2単位(32時間)	必須	木曾 真理絵
授業の概要				
英語で基本的なコミュニケーションが取れる必要性が高まっている中、保育現場においても英語は必要の時代である。子どもたちに伝えられる保育英語を学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
保育園や幼稚園で必要となる英単語や挨拶、話ことばを学ぶ				
実務経験有無		実務経験内容		
有		モンテッソーリ教育実施園において10年間 幼稚園教諭勤務。 縦割り保育のクラス運営、保護者対応等様々な保育業務全般。		
時間外に必要な学修				
身の回りの物を英語だったら？と自分で学ぶ。				
回	テーマ	内容		
1	2年次の復習	2年で学んだ 英単語の復習		
2~3	カレンダー	日付について		
4	ポディーランゲージ	さまざまなジェスチャーを学ぼう！		
5	挨拶と話ことば	日常的に使われる 挨拶と話言葉		
6	仕事	さまざまな職業について		
7	数	いくつあるのか当ててみて？		
8	四季	春～冬にかけての英単語		
9	趣味・特技	趣味・特技		
10~12	自己紹介	自己紹介		
13~16	保育現場(英会話)	保育現場での一場面を英会話で ロールプレイ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
適宜プリント配布		総合評価	100.0%	(採点内訳) 試験 60% 授業態度 30% 発表 10%

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
幼児と体育		保育・食育学科/3年	2020/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	元木 倫子
授業の概要				
子どもの発達に応じた運動遊びを知り、運動あそびの指導・援助を保育の場面を想定して実技中心に学ぶ				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・年齢に応じた運動遊びを知る ・指導のねらいに応じた導入、展開、まとめができる ・クラス全員でのチームワークを学ぶ 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		幼稚園、保育所にて体育指導25年経験 障害児の体育指導3年経験 経験を活かして発達段階に沿った幼児の体育指導を伝える。		
時間外に必要な学修				
運動遊びの中で、年齢発達に応じた運動遊びを選び指導計画を考える。				
回	テーマ	内容		
1	子どもの運動発達	年齢別の運動発達の特徴		
2	子どもの運動発達	身体・物を操作する運動		
3	運動あそびの特性	走る・跳ぶの運動あそびの特性と展開		
4	運動あそびの特性	器械・器具を使う運動あそびの特性		
5	運動あそびの特性	鬼遊びの特性とその展開		
6	運動あそびの特性	ボールあそびの特性と展開		
7	運動あそびと特性	なわ・フープを使ったあそび		
8	指導計画の作成	グループ別で指導案を作成する		
9	指導計画の作成	グループ別、指導案の発表		
10	指導計画の作成	あいさつの言葉、曲に合わせてダンスの練習		
11	指導計画の作成	ダンス(準備体操)の練習		
12	指導計画の作成	ダンス(準備体操)発表		
13	運動あそびの製作	グループでの製作		
14	運動あそびの製作	グループでの製作		
15	運動あそびの製作	グループでの製作		

回	テ ー マ	内 容		
16	運動あそびの製作	グループでの製作		
17	運動あそびの製作	グループでの製作		
18	運動あそびの製作	グループでの製作		
19	リハーサル	グループ別発表		
20	技術を身につける	見直しと手直し		
21	技術を身につける	見直しと手直し		
22	技術を身につける	見直しと手直し		
23	技術を身につける	指導案最終チェック		
24	リハーサル	指導案の通り行う		
25	リハーサル	前回、反省があったところから行う		
26	リハーサル	全体の通しと反省		
27	事前準備	全体の流れの把握、持参物の確認		
28	あおば幼稚園での発表	あおば幼稚園での準備、リハーサル		
29	あおば幼稚園での発表	あおば幼稚園、運動遊び発表		
30	あおば幼稚園での発表	あおば幼稚園、運動遊び発表		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
プリント		総合評価	100.0%	【評価内訳】 授業態度：50% 提出物：30% 発表：20%

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
青年心理学		保育・食育学科/3年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(16時間)	必須	尾崎 桃子
授業の概要				
青年期におけるアイデンティティの確立について。 青年期特有の社会的地位の変化、身体発達、知的発達などが起こる概要を理解する。				
授業終了時の到達目標				
青年期における「自分さがし」を見つめなおす。 青年期における、特有の世界を理解する。(人間関係 恋愛 等)				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
自分が抱える悩みを整理する。				
回	テーマ	内 容		
1	青年期	青年期について理解する		
2	自我の発達	青年期におけるアイデンティティの確立について		
3	''	青年期における恋愛		
4	''	青年期における人間関係		
5	''	青年期における友人関係		
6	青年と社会	青年期と学校		
7	社会に出るということ	仕事はどうやって決める? 将来の見通しとは?		
8	''	職業について		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
適宜配布		総合評価	100.0%	【採点内訳】 60% テスト 20% 提出物 20% 授業態度

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
児童ソーシャルワーク		保育・食育学科/3年	2020/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	尾崎 桃子

授業の概要

児童に関する歴史や法律、児童福祉施設について概要を把握する。
ソーシャルワークの原則や援助技術を学び、グループワーク等を通して体感し、学びを深める。

授業終了時の到達目標

保健児童ソーシャルワーカーの試験に合格できる知識を習得
ソーシャルワークの専門性や倫理を学ぶ

実務経験有無 実務経験内容

有

相談業務5年(病院)
現場で得た相談業務のノウハウを伝える。

時間外に必要な学修

児童が抱える悩みについて調べる。

回	テーマ	内容
1	児童ソーシャルワークについて	ソーシャルワークを学ぶ意義
2~3	児童の歴史	児童の権利に関する条約や宣言
4	''	児童憲章について
5~6	児童に関する法律	児童福祉法について
7	''	その他の児童に関する法律について
8~9	児童福祉施設とは	児童福祉施設の12種類について
10	ソーシャルワークの意味と種類	ソーシャルワークとは
11	ソーシャルワークの専門性と倫理	知識、技術、価値と倫理綱領
12	個別援助技術	ケースワークの意味と歴史
13	''	ケースワークの過程
14	''	ケースワークの技法(言語的、非言語的コミュニケーション)
15	''	バイスティックの7原則
16	''	ケースワーク演習
17	集団援助技術	グループワークの意味と歴史
18	''	グループワークの原則、過程、技法

回	テ ー マ	内 容		
19	”	グループワークの演習		
20	地域援助技術	コミュニティワークの意味と沿革		
21	”	コミュニティワーク演習		
22	その他の社会福祉援助技術	社会福祉調査法、社会福祉運営法、社会活動法、社会福祉計画法の概要		
23	これからのソーシャルワークの課題	日本における社会福祉の動向と課題		
24	児童ソーシャルワークの試験に向けて	資格取得の試験に向けての復習		
25～ 30	過去問	過去問を解き、解説		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	保育士をめざす人のソーシャルワーク	総合評価	100.0%	【採点内訳】 60% テスト 20% 授業態度 20% 提出物

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
点字絵本		保育・食育学科/3年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	木曾 真理絵
授業の概要				
点字を学ぶ。視覚障害者への理解を深める。				
授業終了時の到達目標				
目が不自由な人が使用する点字について理解する。 また、どのように使用するのか経験する。				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
点字器を使って、自分で文章をうつ。				
回	テーマ	内容		
1	点字について	点字について		
2~5	点字サークルライト	点字について、点字絵本作成		
6~11	自分で作成 触って楽しめる絵本作り	目が不自由な子でも 触って楽しめる絵本作成		
12~15	発表	クラスの前で どのところを工夫して作成したか発表		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
プリント配布		総合評価	100.0%	【採点内訳】 70% 授業態度 30% 提出物

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
食と幼児教育Ⅲ		保育・食育学科/3年	2020/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	木曾 真理絵
授業の概要				
<p>保育現場における食育指導が行える保育者養成として 学生に農業の体験を実施。お米のもみまき～収穫までの行程を4回に渡って実施し、その中で 自然の中で動く楽しさ、大変さ 農家の方の大変さを体験することで 保育者になった際には生きた話ができると言える。こども達を呼んでの、保育クッキングを実施 子どもたちの年齢 発達段階に応じて 保育を立案し、実施する。</p>				
授業終了時の到達目標				
実体験を通して 保育者として必要な知識 体験を学ぶ。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		幼稚園教諭10年間 保育現場で行われていた保育クッキングの注意点等を伝える。		
時間外に必要な学修				
実際に自分で子どもが喜ぶ料理を作る。				
回	テーマ	内容		
1～4	保育現場における食育指導	園での取り組みについて		
5～8	おもちゃ作り	食育指導で使えるおもちゃ作り		
9～12	保育現場で行う栽培	きゅうり・トマト・ナスなどの野菜を育てる		
13～16	保育現場で行われるクッキング	子ども喜ぶクッキングを考える		
17	行事食について	伝統行事食について1		
18	"	伝統行事食について2		
19	"	伝統行事食について3		
20～25	保育クッキングの立案と準備	保育クッキングの立案と準備		
26～29	保育クッキング	保育クッキング		
30	振り返り	評価と反省		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
適宜プリント配布		総合評価	100.0%	【採点内訳】 70% 授業態度 30% 提出物と発表

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
食と健康Ⅲ（栄養学）		保育・食育学科/3年	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数（時間数）	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位（30時間）	必須	久留嶋 典子
授業の概要				
ライフステージにおける食事の役割、主に成人期、高齢期をあつかう また、食育インストラクター3級取得に向けた復習を兼ねる				
授業終了時の到達目標				
ライフステージにおける食事の役割を理解し、病気の予防を実践できる				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
身の回りの食品に興味を持つこと 自分の食生活を大切にしようと努力してほしい				
回	テーマ	内 容		
1	成人期・高齢期の栄養	成人期の栄養		
2	"	高齢期の栄養		
3	病態と栄養 食事療法	食事療法の必要性		
4	"	栄養補給法		
5	栄養素の過不足と病気	栄養状態の評価 判定		
6	"	栄養素の過剰		
7	"	栄養素の欠乏		
8	さまざまな病気と栄養	消化管の病気と栄養		
9	"	肝臓・膵臓・胆嚢の病気と栄養		
10	"	腎臓の病気と栄養		
11	"	循環器の病気と栄養		
12	"	代謝性疾患と栄養		
13	"	貧血と栄養		
14~ 15	"	食物アレルギーと栄養		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
適宜プリント配布		授業態度 課題・レポート 期末試験	50.0% 20.0% 30.0%	授業中は意見を発言し、積極的に授業に参加しましょう。課題、レポートは毎回授業の終わりに実施します。 期末試験は筆記試験を行い、60点以上を合格点とします。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
食育実習Ⅲ		保育・食育学科/3年	2020/通年	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	1単位(60時間)	必須	久留嶋 典子
授業の概要				
保育現場における食育の一部である調理の基礎を学び、食育指導としての知識を深める。				
授業終了時の到達目標				
成人の食事摂取基準に合った献立を通して、調理の基礎技術を習得する。 ライフステージ及び病態栄養について学ぶ。				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
スーパーでの食品の買い出し、調理をおこなう回数を増やしてみましょう。 旬の食材を使った料理、保存食、郷土料理にも挑戦し、どんどんレパートリーを増やしましょう。				
回	テーマ	内 容		
1～ 2	離乳食	初期・中期		
3～ 4	離乳食	後期・完了期		
5～ 8	幼児食	子どもが喜ぶメニュー(見た目と味) 学生がグループでレシピ考案し調理		
9～ 10	郷土料理	さめきうどん、げんこつ飴		
11～ 12	親子で作れるパン作り	ロールパン、やきそば、(フルーツサラダ)		
13～ 14	親子で作れるパン作り	イングロッシュマフィン、クラムチャウダー、フルーツゼリー		
15～ 16	親子で作れるパン作り	ウイナーロール、グリーンサラダ、コンソメジュリエヌ		
17～ 18	親子で作れるパン作り	キッシュ、ミモザサラダ、にんじんのポタージュ		
19～ 20	親子で作れるパン作り	ナン、カレー、タンドリーチキン		
21～ 22	親子で作れるパン作り	ジャーマンカマンペール、コロッセ		
23～ 24	親子で作れるパン作り	キャラクターパン		
25～ 26	世界の料理	肉まん(中国)		
27～ 28	和菓子の伝承	どら焼き、わらび餅		
29～ 30	和菓子の伝承	みたらし団子、栗まんじゅう		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
適宜プリント配布		授業態度	50.0%	課題・レポートは毎回授業の終わりに提出してください。 実技評価は毎回の実習の中でおこないます。 衛生的につくれているか、安全管理ができていないか、見た目よくなっているかを評価のポイントとします。
		課題・レポート	20.0%	
		実習・実技評価	30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
卒業研究		保育・食育学科/3年	2020/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	90回	6単位(180時間)	必須	木曾真, 尾崎桃, 元木倫
授業の概要				
3年間の集大成として オリジナルのエプロンシアターを作成し、発表する。 自分の保育観をまとめ、どんな保育者となるべきなのか自分で考える。その中で、子どもたちに自分は何を伝えたいのかをまとめ、エプロンシアターに結び付ける。				
授業終了時の到達目標				
実習先で感じた、こどもに学んで欲しい・興味を持って欲しい内容を考え エプロンシアターを作成 在校生の前で 発表				
実務経験有無		実務経験内容		
有		幼稚園教諭10年		
時間外に必要な学修				
エプロンシアターの実演の仕方を調べる。工夫ポイントを学ぶ。				
回	テーマ	内容		
1	卒業研究の意義	卒業研究の意義		
2~ 6	先輩のDVD	先輩のDVDを視聴		
7~ 8	ねらいを考える	子どもたちに何を伝えたいのか?		
9~ 15	物語を作成	オリジナルの物語を考える		
16~ 56	作成	エプロンシアター 制作		
57~ 68	練習・手直し	各自練習と手直し		
69~ 72	リハーサル	リハーサル(発表)		
73~ 81	卒論発表会	卒論発表		
82~ 90	発表後の振り返りと討論	発表後の振り返りと討論		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
プリント適宜配布		総合評価	100.0%	【採点内訳】 50% 取り組む姿勢 30% 工夫度 20% 発表

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保育・教職実践		保育・食育学科/3年	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	8回	1単位(16時間)	必須	木曾 真理絵
授業の概要				
2年間の学習と教育・保育実習などを通じて身につけた「幼稚園教諭・保育士に求められる資質能力」を確認する授業である。将来、教職に就いた際、自己に欠けている能力は何か、自己の課題を自覚し、自らが必要に応じてその資質能力の向上に努力することをめざす。また、自己の今後の課題を見つけることが大切である。				
授業終了時の到達目標				
保育者としての使命感・教育的愛情について省察する。 社会性や対人関係能力を身につける 子どもの発達状況や心身の状況を理解し、適切なクラス運営を行う能力を身につける 保育内容等の指導力について基本的事項を身につける				
実務経験有無		実務経験内容		
有		幼稚園教諭10年 やりがいのある仕事としてどう向きあうのか、現場で得た知識と技術を伝える。		
時間外に必要な学修				
経験した実習を振り返る。				
回	テーマ	内容		
1	幼稚園と保育所	地域社会における幼稚園・保育所の社会的使命と役割		
2	保育者	保育者としての使命感と教育・保育的愛情		
3	人間関係・クラス	クラス運営とは		
4	子ども理解	教育・保育内容の検討 子どもとの信頼関係		
5~8	自分の保育技術を見直す	いままでの実習を通して自分が足りないものは		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
適宜プリント配布		総合評価	100.0%	【採点内訳】 60% 発表 20% 提出物 20% テスト